

令和7年村上市議会第4回定例会  
一般質問通告書

質問順

12月4日(木) 午前10時開会	1	野村 美佐子	1ページ
	2	姫路 敏	2ページ
	3	小杉 武仁	3ページ
	4	山田 勉	5ページ
	5	上村 正朗	6ページ
12月5日(金) 午前10時開会	6	菅井 晋一	7ページ
	7	河村 幸雄	9ページ
	8	富樫 光七	11ページ
	9	高田 晃	12ページ
	10	鈴木 一之	13ページ

質問順	1
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 3 番） 野 村 美佐子

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 旧香藝の郷の利活用について	今年度は「官民連携モデリング」として民間提案に基づく新たな官民連携手法として、国土交通省の調査委託に基づき、民間事業者が有するノウハウを活用した調査などが進められるということですが、進捗状況を伺います。	市 長
2 中学校の部活動の地域移行について	令和8年度から中学校の部活動が平日も休日も地域移行となりますが、諸課題に対する対応はどのようになっているか、次の点について伺います。 ① 教育的意義を継承するためにも地域クラブ活動に対する認定制度を作ったことは良いことだと考えますが、地域によって認定地域クラブの数や種目に差があったり、指導者確保の見込みなどの課題もあります。子どもたちの自主的な活動を保障するための対応策について伺います。 ② クラブのユニホームや月会費など、無償だった部活動が有償になり、保護者の負担が増えると考えますが、具体的な支援策について伺います。 ③ アフタースクール構想について具体的にどのような取組なのか伺います。	教 育 長
3 高齢者等エアコン設置費補助事業について	異常な猛暑が年々長くなり、熱中症対策が重要な課題になっています。故障も含め1台も家にエアコンがない世帯に対象を拡大する考えはないか伺います。	市 長
[メモ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（16番） 姫路 敏

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1  ごみ処理手数料の徴収方法変更について	<p>村上市は「指定ごみ袋方式」から「指定シール方式」へ転換することにより、受益者負担を抑えつつ、「財源確保」と「CO<sub>2</sub>排出量削減」の両方が実現できる可能性があるとしておりますが、市民は自らごみ出しのために袋を別に購入することとなり、結果的にごみ処理に使用する袋の量に変化はなく、CO<sub>2</sub>排出量削減にはつながらないと言えます。「指定シール方式」が「CO<sub>2</sub>排出量削減」につながるといふ市民への説明は誤っていると考えますが、市長の所見を伺います。</p>	市 長
2  道の駅朝日について	<p>道の駅朝日の管理運営候補者選定プロポーザルを実施した結果、「あさひミライ共創パートナーズ」が選定されました。このプロポーザル事業には現在指定管理者として業務を行っている業者も参加したと聞きましたが、選定されませんでした。地元企業が選定されなかった要因を聞かせてください。</p>	市 長
3  統合保育園について	<p>村上市統合保育園整備運営事業者が「社会福祉法人わかば福社会」に決定し、協定書を締結しておりましたが解除されました。その理由を聞かせてください。</p>	市 長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 9 番） 小 杉 武 仁

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 鮭の不漁と影響について	<p>近年では、温暖化が原因とされる影響によって鮭の遡上数が著しく減少し、三面川における捕獲数も深刻な現状にあります。</p> <p>また、採卵においても確保が難しい状況にあり、稚魚放流にも大きな影響があると心配しています。</p> <p>「鮭のまち村上」として全国に知られる本市ですが、伝統的な鮭文化を存続させるためにも専門的な知見を活用した不漁の原因究明や、鮭増殖に向けた取組が急務だと捉えます。</p> <p>近年の状況を鑑みれば、本市としても将来に向けた対策を講じる必要性を感じますが、以下について市長の所見を伺います。</p> <p>① 今秋、三面川が長期間にわたり濁っていたことを確認していますが、原因と対策をお聞かせください。</p> <p>② 近年の不漁の原因をどう分析しているのか、お聞かせください。</p> <p>③ イヨボヤ会館の運営にも影響があると思われませんが、現状をお聞かせください。</p> <p>④ 不漁によって、市内の鮭加工販売業者や鮭を提供する飲食店に加え、市民の食生活にとっても大きな影響を及ぼしていると感じますが、見解をお聞かせください。</p> <p>⑤ 鮭と同じくアユやサクラマスなどの魚も減少傾向にあると感じますが、生態系を守るために改善できる具体策についてお聞かせください。</p> <p>⑥ 経済建設常任委員会の行政視察では、「シロザケ」の養殖も実現できる可能性が高いと確認しています。本市でも積極的に取り組むべきと考えま</p>	市 長

すが、所見をお聞かせください。

[メモ]

質問順	4
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（19番）山田 勉

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 クマ対策について	<p>全国的にクマの出没が報じられ、人的被害が多数発生している現状は、緊急かつ非常事態と言わざるを得ません。市内でも連日のようにクマの目撃情報が寄せられており、外出する際にも周囲への目配りが欠かせません。この非常事態に対処するためには国家レベルでの対策を講じなければ、安全な日常生活を営むことは難しい状況です。</p> <p>本市における現状と対策、今後の対応について、伺います。</p>	市 長
2 村上駅周辺まちづくり事業について	<p>この事業で検討している、国の施設誘致及び複合施設の整備状況と民間活力を導入した事業展開の現状について伺います。</p>	市 長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 5 番） 上 村 正 朗

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 山北地域の活性化について	<p>① 山北ゆり花温泉・交流の館「八幡」について、地元から代替施設の建設に向けた要望が出されていると聞いています。山北地域の活性化のため、代替施設の建設に向けた具体的な計画を早急に策定すべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>② 代替施設ができるまで、交流の館「八幡」の営業を継続すべきと考えますが、見解を伺います。</p>	市 長
2 社会福祉協議会に対する支援について	<p>社会福祉協議会は、通所介護事業の収益悪化により、法人全体の財務状況が極めて厳しくなっています。事態の改善に向けて市が支援すべきと考えますが、見解を伺います。</p>	市 長
3 公共交通の充実について	<p>① 本市の公共交通において、タクシーは重要な役割を果たしています。持続可能なタクシー事業の展開に向け、配車業務の共同化や運転手確保等の取組が進展するよう、市が支援することが必要だと考えますが、見解を伺います。</p> <p>② 村上・寒川のりあいタクシーについて、観光シーズンにおいては土日や祝日も運行すべきと考えますが、見解を伺います。</p>	市 長
4 移動図書館車について	<p>広大な市域を有する本市にとって、移動図書館車は市民が読書に親しむための大切な財産だと考えます。今後も事業の継続と充実を図るべきと考えますが、見解を伺います。</p>	教育長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 6 番） 菅 井 晋 一

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 農業振興とほ場整備事業の進展について	<p>本市の基幹産業であります農業政策の方向性について伺います。特に朝日地域では館腰・三面地区でほ場整備事業が進められていますが、事業の進捗状況と今後の見通しについて以下のとおり伺います。</p> <p>① 長津地区は工事着手の段階と聞いていますが、他地域も含め今後の事業スケジュールと進捗状況を伺います。</p> <p>② 事業推進における課題などについて伺います。</p> <p>③ 事業要件として、園芸導入面積を2割以上とする条件がありましたが、販売額2割以上も選択可能となったと聞きました。現状を伺います。</p> <p>④ 農作業の効率化・省力化、生産コスト低減のための更なる大区画化が必要と考えますが、特に平地地域の区画はどうなるのか伺います。</p> <p>⑤ 県では棚田みらい応援団の活動を推進し、企業や大学、ボランティアと、支援を求める棚田の地域の集落をマッチングし、棚田での共同作業等による都市と農村の交流を促進することによって、棚田の保全と地域の活性化を進めていますが、本市で取り組むことはできないか伺います。</p> <p>⑥ 最近の米価の高騰を受け、JAグループの令和7年度の仮渡金の額が上昇する傾向にあり、農業者の水稻作付の意欲が高まっているものと認識しています。次年度以降の市としての水稻作付の方向性について伺います。</p>	市 長
2 後期高齢者に対する人間ドック助成について	<p>本年第3回定例会において「後期高齢者にも国民健康保険と同じ人間ドック助成を求める請願」が村上年金協会同好会から提出され、採択されました。</p>	市 長

<p>3 小・中学校児童生徒の育成指導について</p>	<p>今年度から国民健康保険加入者は市内の施設を利用した人間ドック費用助成は26,000円、また村上市以外の施設を利用した方は20,000円となりました。</p> <p>政策に年齢の壁をなくして是非とも後期高齢者にも適用できるよう願い、新年度予算編成に向けた市長の考え方を伺います。</p> <p>10月に文部科学省から、児童生徒の問題行動調査（令和6年度）の結果が発表されました。</p> <p>全国の小・中学校におけるいじめの認知件数は、児童生徒1,000人当たり小学校が101.9件（前年度96.5件）、中学校が42.6件（前年度38.1件）と、前年度に比べ増加傾向にあります。</p> <p>また、不登校児童生徒数は小学校が137,704人（前年度130,370人）、中学校が216,266人（前年度216,112人）で、不登校児童生徒の割合は小学校が2.3%、中学校が6.8%と、前年度に比べ増加傾向にあります。</p> <p>そこで、本市の現状と対策について伺います。</p> <p>① 本市の小・中学校におけるいじめの認知件数と児童生徒1,000人当たりの認知件数、不登校児童生徒数及び不登校児童生徒の割合を伺います。また、それぞれ前年度との比較と対策を伺います。</p> <p>② 小学校における暴力行為の発生件数は、全国平均が児童生徒1,000人当たり13.8件に対し、大阪市では年々減少し、わずか1.3件でした。これはあらかじめルールを明示することにより、子どもたちがしてはいけないことを自覚したうえで、自らを律することができるよう促すことを目的として作成された「学校安心ルール」によって、大きな成果を上げているからと考えます。これらを参考に児童生徒の育成指導、学校運営ができないか伺います。</p>	<p>教 育 長</p>
<p>[メモ]</p>		

質問順	7
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（10番）河村幸雄

質問事項	質問要旨	答弁者
1 人工芝多目的グラウンドの建設について	<p>平成26年5月、約8,000人の署名簿が添付された「村上市に人工芝のグラウンド建設に関する要望書」が市長に提出され、その際に市長がサッカー競技を行える人工芝グラウンドの必要性に理解を示し、建設整備を約束し生涯学習課に取組を指示したとのことです。しかし、具体的な取組が見られないまま現在に至っていますが、次の点について伺います。</p> <p>① これまでどのような検討がなされ、今後人工芝グラウンド整備をどのように進めていくのか伺います。</p> <p>② 現在県内20市の中で人工芝グラウンドが整備されていないのは本市だけです。人工芝グラウンドの必要性について、当時市長も理解を示したとのことですが、どのような構想を考え建設整備を約束したのか伺います。</p>	市長 教育長
2 「村上祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録について	<p>ユネスコ無形文化遺産代表一覧表に記載されている「山・鉾・屋台行事」の拡張提案が認められ、無形文化遺産保護条約政府間委員会の評価機関から、「村上祭の屋台行事」を含む4件の国指定重要無形民俗文化財を登録することが適当との勧告がなされました。12月にインドで開かれる政府間委員会で最終決定がなされます。決定されれば大変名誉なことであり、先人たちが引き継いできた歩みをしっかりと守り感謝すると同時に、この伝統ある町で生活できる喜びと、「村上祭の屋台行事」と併せて郷土村上を世界に発信していくべきと考えます。</p> <p>市長も大変お喜びと思いますが、この文化を今後</p>	市長 教育長

	<p>どのように継承していくのか、抱負も含めて以下のとおり伺います。</p> <p>① 登録が決定された場合に、市民と共に祝賀記念行事を実施する計画について伺います。</p> <p>② 本年も村上大祭、瀬波大祭、岩船大祭が盛大に行われ、交通警備や仮設トイレ設置に係る経費負担については市から支援いただき、感謝の声が聞こえてきました。登録後には、祭り関係者との更なる連携、協力が必要になると考えますが、どのような取組が考えられるのか伺います。</p> <p>③ 今後この文化をどのようにして国内外に発信していくのか伺います。</p> <p>④ 本市の魅力発信には地域経済を活性化することも欠かせないと考えますが、本市の魅力を伝える大事な機会である物産展の開催について伺います。</p> <p>⑤ 「村上祭の屋台行事」がユネスコ無形文化遺産となり開催される来年の村上大祭では、是非とも地元の小・中学校を休校にして多くの子どもたちに参加、見学、体験しながらお祝いしてもらえる機会を作ってほしいと考えますが、お考えを伺います。</p>	
<p>[メモ]</p>		

質問順	8
-----	---

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 4 番） 富 樫 光 七

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 有機農業の取組について	本市が令和8年度に予定している、国が進めるオーガニックビレッジ宣言について、本年第3回定例会で一般質問しましたが、その後の進捗状況について伺います。	市 長
2 クマ出没対策について	例年になく今年は、全国的にクマの出没情報が報道されています。 本市においても、連日のように市内各地でツキノワグマの人里への出没が多発しており、人身被害への恐れが深刻となっておりますが、本市における対策について伺います。	市 長
3 村上駅周辺まちづくり事業について	大規模跡地利活用の進捗状況について伺います。	市 長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（ 8 番） 高 田 晃

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 多様化するニーズに対応した保育サービスの充実について	<p>男女共同参画社会の伸展や核家族化の進行により、仕事をしながら子育てをする人が増加し、保育ニーズが高くなっています。</p> <p>また、延長保育や土曜保育、病児保育、一時預かりなど、多様化する要望への対応が求められています。このような状況に対応し、効果的で質の高い保育サービスを提供するため、市の保育施策について次の点をお伺いします。</p> <p>① 保育人材の現状と課題について伺います。</p> <p>② こども誰でも通園制度の取組について伺います。</p>	市 長
2 クマ被害対策について	<p>今年は全国的にクマ被害が急激に増加しており、国や各自治体ではその対応に追われています。</p> <p>本市においても、これまで警察や市役所が中心となり、パトロールや注意情報の提供を行っているほか、猟友会の協力による箱罠設置や捕獲、駆除が行われています。</p> <p>現在のところ、本市では人身被害は発生していませんが、これまでのクマ対応活動や今後の被害防止対策について、次の点を伺います。</p> <p>① 警察や猟友会との連携上の課題について伺います。</p> <p>② 対応にあたる市職員の体制について伺います。</p> <p>③ クマ被害対策パッケージへの対応について伺います。</p>	市 長
[メ モ]		

一 般 質 問 通 告 書

質問議員（13番）鈴木一之

質問事項	質問要旨	答弁者
1 障がい者雇用と就労支援について	<p>就労支援は障がい者にとって、地域で自立した生活を送ることができるようにする経済的な基盤としての所得の確保や、働くことによる生きがいつくりなどのために重要な施策です。</p> <p>村上・岩船地域では、障がい者雇用や誰もが働きやすい就労環境を進めていく上で、障がい者雇用の受入先が限られていることや、障がい特性の理解、職場への通勤手段が限られていることなど、様々な理由で雇用を諦めてしまうという課題があります。</p> <p>村上・岩船地域自立支援協議会就労支援部会では、その課題に対して、障がい者就労支援に携わる関係機関だけではなく、企業や教育、医療、福祉行政等の連携が重要であるとの意見を伺っています。そこで次の点について伺います。</p> <p>① 障がい者雇用推進企業ネットワークの実情と課題について伺います。</p> <p>② 就労は、障がい者の自立、社会参加のための重要な柱の一つであるため、障がい者が能力を最大限発揮し、働くことができる環境整備が重要だと考えますが、雇用の拡大に向けた具体的な施策を伺います。</p> <p>③ 障がい者雇用率の向上を目指し、関係機関と連携しての雇用を引き続き呼び掛けていただきたいと思いますが、本市などの公的機関における雇用拡大の推進について、現状と課題を伺います。</p> <p>④ 障がい者の能力に応じて可能な限り雇用されるよう、就労に関する相談、必要な指導及び助言、その他必要な援助を行うなど、就労環境の整備、啓発等、事業主に対し雇用への理解促進と協力を</p>	市長

	<p>要請していただきたいと思いますが、現状を伺います。</p> <p>⑤ 市では障がい者就労施設などからの物品、役務などの調達推進について、年度ごとに調達方針を示し、一層の推進を図ることで、障がい者の自立促進に取り組んでいると承知しています。本市における優先調達の具体的な対応、発注、請負状況等を伺います。</p> <p>⑥ 環境整備事業と障がい福祉分野、そして行政が連携し、環境整備事業を通しての障がい者の地域参加、地域貢献を図っていく取組「環福連携」の現状について伺います。</p>	
--	--	--

[メモ]